

第13号(2003.1.25)発行 国絵図研究会

〒310-8512 水戸市文京2丁目1-1 茨城大学教育学部小野寺研究室

Tel & fax 029-228-8294

国 絵 図 ニ ュ ー ス

第15回滋賀大会のお知らせ

明けましておめでとうございます。今年も国絵図研究会への変わりないご援助と積極的な参加を賜われますようお願い申し上げます。

さて、第15回の研究会は岩間一水先生（草津市街道情報センター）のお世話で、滋賀県立図書館で下記の通り行うことになりました。同館所蔵の正保・元禄・天保国絵図など14点（滋賀県指定文化財）全てを熟覧できます。写真撮影はできませんが、研究に耐えうる8×10撮影で16分割の写真を購入できます。

さらに3月2日に岩間一水先生（草津市街道情報センター）の案内で草津宿と本陣を巡見した後に、草津公民館で岩間先生・磯永和貴（佛教大学講師）・福島雅蔵先生（花園大学名誉教授）に近江国絵図についての研究報告会を行います。

近江国絵図を堪能できる2日間です。是非ともご参加ください。

■ 開催日 2003年3月2日(日)～3日(月)

□ 集合場所 3月2日14時 JR東海道線草津駅改札口集合

■ 日程

●3月2日 東海道草津宿巡見・研究会・懇親会

14～17時 巡見と研究会 草津公民館（草津駅下車旧東海道を京都方面に徒歩10分、草津本陣の前です。電話077-564-4999）で岩間一水先生・磯永和貴先生・福島雅蔵先生に研究成果をご披露いただきます。

17時～19時 懇親会 草津駅周辺で行います。当日案内致します。

●3月3日 熟覧会 滋賀県立図書館

10時～16時 滋賀県立図書館に10時に集合してください。図書館は休館日です。滋賀県立図書館は、JR東海道線瀬田駅下車。帝産バス・近江バス「滋賀医大行」に乗車（約10分）、「文化ゾーン」下車徒歩5分です。帝産バス9時36分・近江バス9時43分が便利です。

※写真撮影はできません。県立図書館撮影の記載内容が読み取れる写真を実費で入手可能です。研究会当日に案内します。

■ 費用

研究会 500円（草津宿本陣見学・会場費・資料代）

懇親会 5000円程度

■ 宿泊 各自でお申し込み下さい。参考までに下記を紹介しておきます。

JR瀬田駅 瀬田アーバンホテル S6600円 電話077-543-6111

JR瀬田駅 ホテルニューサイチ S7500円 電話077-543-2511

JR瀬田駅 ニュー琵琶湖ホテル S6500円 電話077-545-0101（温泉）

JR大津駅 ホテルα-1大津 S4510円 電話077-523-6677

JR大津駅 ビジネスホテル湖月 S4500円 電話077-521-5161

参加申し込み方法⇒同封のはがきに必要事項を記入の上、2月15日必着で申し込みください。期限は厳守してください。

測量家小野光右衛門と天保備中国絵図

磯永和貴

昨年 12 月に広島府中市で急逝した後輩の一周忌に行き、その帰りに友人たちと岡山方面にドライブすることになり偶然にも岡山県浅口郡金光町を通過するルートをとった。この機会とばかりに 2 年ほど前から気になっていた測量家小野光右衛門の史料があるという金光図書館に立ち寄ってみた。たった一時間ほどの採訪であったが、小野光右衛門が天保国絵図の作製に携わった記録がみられる「役用並天象日記」と関連の絵図を知りえた。日記はすでに金光図書館報「土」に金光真整・三矢田守秋氏によって「小野家文書(3)・(4)」として紹介され史料目録も作成（未刊）されているが、手に入れることが難しいと考えられるので、天保国絵図の関係史料を紹介することにし、解説（次号予定）することにした。

なお、金光町は金光大陣の開いた金光教本部があることで知られている。この教団によって運営されているのが金光図書館である。小野光右衛門はこの金光教本部のある旧大谷村の庄屋で、教祖の金光大陣は光右衛門に読み書きを学んでいる。こうした縁が重なって小野家文書は金光図書館の所蔵になったのである。

ところで、史料を紹介する前に、少々長くなるが小野光右衛門との出会いを紹介しておこう。それは 2 年前ほど前であろうか肥後藩の測量家を探しているなかで原甚吉という測量家を知りえた時に始まる。甚吉は、農民身分でありながら文化 5 年に測量家の牛島宇平太に学び免許相伝を受け、同 6 年に苗字帯刀、同 10 年に藩に願い出て備中の谷東平・備前の窪田浅五郎に測量を学び、同 11 年には肥後藩主に算術を披露した。その間にあって肥後国玉名郡一帯の測量図を多く作製している。こうした才能が認められ、特に許されて農民身分でありながら文政 2 年から 4 年まで肥後藩校時習館の居寮生として学び、その後も測量家として天保地推（検地）調査や多くの測量、そして多彩な弟子を育てたのであった。こうした甚吉の経歴の中で、備中の谷東平と備前の窪田浅五郎が気になり続けていた。

本研究会の岡山大会の折に岡山県立図書館に立ち寄った際に偶然に同館の図録『平成 10 年特別、展歴史を彩るひとびと一近世岡山の文化一』の中で和算家の小野光右衛門が文化 6 年に谷東平に学んだことを発見した。この図録によって小野光右衛門の測量道具や絵図などが金光図書館に所蔵されていることを知った。こうして、原甚吉と同世代に生き、そして同じ谷東平に学んだ小野光右衛門とその史料を知り、はじめに述べた通り金光図書館を訪れたのである。一寸した縁が史料の発見となるのは誰しも経験したことであろうが、それにしてもうれしくも楽しくもある。

絵図及び関係史料

21 - 01-01 絵図袋表紙書き込み（袋のみで絵図はない） 天保七年丙申歳仰付、同八年西三月調上、之従公儀国々村絵図差出様被仰付由二而、当御知行所見取絵図致候様被申付相認差上候下書四枚入、

但、先年出来罷在候御領内分間絵図御役所ヨリ御下ケ被成□□様ニ被仰聞候得共、一国之絵図ニ而村々境無之ニ付、右絵図を以村境ハ庄屋中ニ相尋凡ニ引分ケ一村限り合拾四枚ニ調、御控共式拾八枚認差上候、小野光右衛門

21 - 01-01 絵図袋表紙書き込み（袋と絵図 1 点・竖帳 1 冊） 天保七申ヨリ九戌歳迄従公儀国絵図御取調被為成ニ付、御領内右御用掛り承仰相勤候記録一冊并絵図控書類数通入、小野光右衛門

「役用並天象日記」より天保国絵図関係部分

天保八年 11 月 4 日（前略）今朝飯後可罷帰候所、御用被仰付候故滞留、右ハ公儀ヨ

リ国絵図調製候義、板倉阿波守様・木下肥後守様被為□□□由にて、当御領分ヨリ御差上被成候元禄年中之絵図近日相廻候間、相変候所々付紙いたし差出候様、右御両家ヨリ御掛合御座候由にて、御役所ニ有之候古絵図並当年調上候絵図御渡被成、違候所々有之バ取調付紙仕候様被仰付候

11月6日（前略）古絵図付紙差上候処、右付紙之通新絵図へも付紙いたし、新古絵図を為持足守御用掛り鳥越新介へ拙者内談ニ罷出候様仰付候（後略）

11月7日（前略）鳥越新介殿ハ難波忠五郎縁家ニ付、同人書状を以御用透尋合ニ今日遣申候、晩安曾ヨリ使者帰る、何日ニても勝手次第参候様、尤短日ニ候間、一夕御逗留之積リニ可罷出旨申越候、右趣小倉様へ申上候処、明朝二階堂様へ参、御届申上候様ニ被申聞候

11月8日飯後出立、幸十郎召連東安曾へ参候処、鳥越新介足守え出勤ニ付帰宅相待居申候処、暮過罷帰候故夜中内尋合相済同家ニ逗留、酒飯取持ニ相成、罷出候節、鯛・鰯持参、右代九匁伊八へ渡、未戌大割へ元利書出し請取可申事

11月9日中島様御一人出勤、右尋合申候趣御役所にて委細申上候

11月10日元禄之度御取調被成候国絵図、従公儀御下ケ相成候写、一郡限彩色分、御領分近辺程剪絵図いたし、井山寺領御頼分共四枚、足守ヨリ御差越し被成、違有之候ハバ、此絵図掛紙たし申出候様被仰越候趣、依之右四枚とも本紙ニ掛紙致不致写取候て遣度、並控も取置度候間、写し取候旨被仰付、今日ヨリ右写ニ取掛り申候

11月12日（前略）林蔵連夫共晩致帰村候、清水村庄屋清水茂登右衛門を呼、御絵図調手伝相頼申し候

11月13日・14日十三日・十四日、両日共茂登右衛門呼、御絵図調手伝相頼申候

11月16日（前略）茂登右衛門手伝相頼候、今日迄ニ剪絵図写相調差上相済候

天保九年1月23日加藤より飛脚被差越候、右ハ足守鳥越新介殿より拙子当テ御国絵図御用向ニ付、来状送來り候

1月24日朝出立、中郡出勤、参掛加藤へ寄、晩下会所へ着、右鳥越より被申越候一条、小倉様へ申上置候（後略）

1月26日晩八ツ頃中郡出立、東阿曾鳥越新助殿宅方へ罷出、連夫吉十、右ハ廿二日書状にて被申越候御国絵図変地之訳相答候ため出役、尤今夕ハ帰宅無之趣留守にて承候故、直ニ足守え罷越、郷宿山口屋蠶之介方へ着、同人を以案内為致候処、鳥越氏夜分郷宿迄御出御座候ニ付、相窺候上にて図面掛紙いたし差出事済申候、山口屋にて宵朝仕度鳥越氏賄老度、外ニ同氏へ差出候酒肴代共合十五匁払済申

1月27日朝足守出立、帰路東阿曾へ立寄、御国絵図御用済切候挨拶いたし、肴代金三百差出置候て、九ツ過下会所へ罷帰候、右一件小倉様へ御届申上置候て、絵図控認候ニ付滞留

訃報

田中智彦先生が急性白血病で12月3日に急逝されました。昨年11月23～24日にかけて行われた国絵図研究の高知大会で元気なお姿を見せられ、わずか9日後のことで大変驚かれた方が多かったと思います。

私事で恐縮ですが、11月23日の懇親会の後に田中先生をはじめ小野寺淳・平井松午先生とともに高知の町に出かけました。田中先生は大変お元気で、「ドロメ」や「ウツボのたたき」などの珍味を肴にお酒を召し上がっておられました。病気のことなど微塵にも感じられませんでしたの誠に残念です。

いつも気さくで笑顔の耐えなかった田中先生でした。謹んでご冥福を心よりお祈り申し上げます。(磯永)

ニュースの号数と会合の回数について

前回のニュースの号数と会合の回数について、高知大会で倉地克直先生・青木充子先生より岡山大会が欠けていることをご指摘いただきました。まったくもってうかつでした。深くお詫び申し上げます。再度下記のように訂正し、皆様に報告します。1回宇治、2回東京、3回奈良、4回徳島、5回亀岡、6回山口、7回米沢、8回長野、9回臼杵、10回東京(税務大学)、11回西宮、12回佐原、13回岡山 14回高知とします。倉地・青木両先生をはじめ会員の皆様に深くお詫びします。

本の紹介

★ 20012月2年開催された富山郷土博物館(富山市本丸1-62 電話 076-432-7911)の特別展「街道」の図録に越中の国絵図が数点カラーで紹介されています。値段は1,000円程度だそうです。

★ 国立歴史民俗博物館資料調査報告として『社寺境内図資料集成1』2001年と『同2近畿・補遺』が一昨年の夏に刊行されました。

いずれも昨年、岩鼻通明先生からのMAILでの連絡でした。掲載が遅れましたが皆様お見知りおきください。

会費の納入をわすれていませんか。

国絵図研究会は、皆様の会費によって運営しております。ご協力ください。

一般2,000円 学生・院生1,000円です

※ 研究会の会計は、上原秀明先生から小野寺淳先生にバトンタッチしていただきました。

※ 口座番号は00120-6-18473 加入者名国絵図研究会です。

編集後記●一月になって急に寒くなったようです。インフルエンザ猛威とのこと。皆さんだいじょうぶでしょうか。今年は一足先早くに花粉症も始まったようです。▲編集子の電話が新しくなりました0944-53-5859です。♥常時原稿を募集いたします。メールで送って下さい。■現在、国絵図ニュースは100部発刊しています。残部がありますので、関係機関に寄贈をしたいと考えています。送りたい機関がありましたら、編集子までお知らせください。

ニュース編集担当・・磯永和貴 〒837-0912

福岡県大牟田市大字三池 895-1

Tel&fax0944-53-5859

mail アドレス isonaga@k3.dion.ne.jp